

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス SAI平田教室		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		令和7年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		令和7年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	その季節ならではのイベントごとを行い四季を感じる事ができるようにしている。また、外部講師をお呼びしての活動など、大人数や放デイだからこそできる経験を積むようにしている。	雨天時の活動に限りがあるため、室内での活動について情報収集を行う。
2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	ヒヤリハットが起きた際には必ず報告書を作成し、同事業所内の全教室と共有を行っている。他教室のヒヤリハット報告書を読み、自教室で起きた場合にどうするかを話し合うこともある。	ヒヤリハットについて保護者や児童とも共有を行い、環境整備に努めるとともに、児童と一緒に再発防止策について考えたり、ご家庭でもお話をするきっかけとしてもらう。
3	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	保護者会や親子レクリエーションを行い、保護者同士での交流や、きょうだい同士での交流、家族間の交流の場としている。	茶話会など、保護者会よりもよりくだけた環境で話し合える場を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	実施自体を行っていない。	第三者による外部評価をまずは行う。評価結果を公表するとともに、支援員間での業務改善へとつなげる。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	近隣の保育所等と関わることがない他、事業所内の他教室との4教室合同イベントについては他教室のある松橋地域で行っているため、地域の他のこどもと活動する機会がなかった。きょうだい児との交流は行っている。	安全管理を徹底したうえで可能であれば、保護者の同意を得たうえで地域のこどもも交えた夏祭りなどの企画を行う。
3	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	虐待防止委員会の設置自体は事業所内で行っているが、不定期な活動のため結果についても周知徹底が出来ていない。	虐待防止委員会の開催の頻度を決定し定期的に開催するとともに、その結果について書面で事業所内に公表、周知徹底を行う。